



# 山ぼうし

—友愛・協調・責任—

山ぼうしは「立志の樹」といわれ正門脇の「山ぼうし小庭園」には『花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし』の碑(初代PTA会長の盛合聡氏揮毫)がある。

宮古工業高等学校 校報 第2号 2015. 5. 29

## 時間の流れを遅くする

校長 及川晃貴

本校は「ものづくり教育」を基軸に、機械科・電気電子科・建築設備科の各学科の専門教科と、その学びの基礎である共通教科にしっかり取り組むことで、『楽しく学び、明るく生き生きとした活力ある、魅力に満ちた学校』を目指しています。

また、『地域の復興に向け、地域と共に協力し助け合い、地域貢献活動に積極的に関わり、保護者及び地域から信頼される学校』を旨とし、6月17日には近隣の小・中学生とともに「鮭の町復興クリーン大作戦」を行います。これらに加えて、部活動や生徒会活動等にも積極的に参加します。

もちろん、そのためには上手に時間をやりくりして、各活動に充てることが大切です。生徒の皆さんには年度始めの始業式の中で、自分の時間を有効に使うために、次に示す「自力で時の流れを遅くする5つの方策」を紹介しました。

- 一、学び続けること。新しい経験が得られて、時間感覚がゆっくりとなる。
  - 二、新しい場所を訪ねる。定期的に新しい環境に脳をさらす。
  - 三、新しい人に会う。他人とのコミュニケーションは脳を刺激する。
  - 四、新しいことを始める。新しい活動への挑戦。
  - 五、感動を多くする。
- (信州大学・山沢清人学長の本年度入学式式辞から)

生徒の皆さんが、心身ともに健康な体を養い、充実した高校生活を送ることを期待しています。

## ○本校の学校経営計画

平成27年度の「宮古工業高等学校経営計画」を策定しました。この計画は、岩手県教育委員会経営計画を土台にしながら、本校の実態に即した取組を具体的に示したものです。(裏面参照)

### \* 岩手県教育委員会経営計画(抄) \*

「いわての復興教育」の推進、幼児児童生徒の心のサポートなど、学びの場の復興に向け全力で取り組むとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目標の実現に向けた取組を推進する。

## ○生徒会活動方針を決定

5月14日(木)に本年度前期生徒総会が開催され、活動方針を決定しました。

### 生徒総会

### 平成27年度 生徒会活動方針

- ・ボランティア活動の活性化
- ・震災を風化させない
- ・工業祭を盛り上げる

## ☆6月の主な行事☆

- 4(木) 先輩に聞く会(3年)、献血、飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室(1年)
- 7(日) 第二種電気工事士(筆記)
- 12(金)~16(火) 第1期末試験
- 12(金) 機械製図検定(1次)
- 17(水) 鮭の町復興クリーン大作戦  
赤前小・津軽石小・津軽石中・地区の方々との連携事業
- 19(金) 計算技術検定
- 22(月) 学校説明会(中学校教員対象)
- 23(火) 芸術鑑賞会(劇団銅鑼「チャージ」)
- 24(水) 第1回学校評議員会
- 25(木)~26(金) 校内球技大会
- 26(金) 情報技術検定
- 27(土) 危険物取扱者試験(宮古市)
- 30(火) 企業見学(3年)

スクールカウンセラー来校日 4(木)・26(金)



### 編集後記

現在、高総体のまっただ中で、多くの生徒が各競技会場で熱戦を繰り広げています。次号では、ワールド・エコノ・ムーブや高総体の様子などをお届けします。(及川)



第44代生徒会執行部

会長	M3 佐々木 大(田老一)	書記	E2 豊間根理江(豊間根)	会計監査F2	水沼 毅己(田老一)
副会長	E3 長洞 利林(津軽石)	会計	F3 杉沢 智樹(津軽石)	議長	E3 中嶋 克(津軽石)
副会長	E2 黒田 達也(宮古二)	会計	M2 佐々木彪河(豊間根)	副議長	M2 館下 仁(津軽石)
書記	M3 秋田 裕貴(宮古一)	会計監査E3	腰巡 友太(津軽石)	応援団長E3	野村 駿(崎山)

# 2015年度(平成27年度)岩手県立宮古工業高等学校経営計画(抄)

## ○本校が目指す学校像

ものづくり教育をとおして、

- 1 楽しく学び、明るく生き生きとした活力ある、魅力に満ちた学校
- 2 「友愛」「協調」「責任」の精神に満ちた学校
- 3 地域の復興に向け、地域と共に協力し助け合い、地域貢献活動に積極的に関わり、保護者及び地域から信頼される学校

## ○主な取組

### 1 保護者・地域に信頼される学校

- ① 復興教育及びボランティア活動を推進し地域貢献に取り組むことにより、心豊かでたくましい人間性を育む。
- ② 学校間交流(県外)を実施するとともに、地元小中学校への出前授業を行って連携強化を図る。
- ③ 家庭との連携を深め、生徒一人ひとりを大切にし、心のサポート等を丁寧に行う。
- ④ 学校評価や学校評議員からの意見等を踏まえながら不断の改善に取り組む。
- ⑤ 学校ホームページ等による生徒の活動紹介を通じてタイムリーに発信する。
- ⑥ 危機管理マニュアルの見直しとその充実を図る。
- ⑦ 創立50周年(2023年)に向けた準備を着実にを行いながら、各学科の特色等を広く周知し、本校の地域における役割など存在意義等を広くPRする。

### 2 基礎学力の向上

- ① 主体的に授業に臨む姿勢・態度を育成する。
- ② 授業力の向上に努め、生徒の実態に応じた、『わかる・力がつく授業』を展開する。
- ③ 適切な課題等により家庭学習の習慣化を図る。
- ④ 毎日10分間の「朝読書」の実施により、読書習慣の定着を図り、落ち着いた学習に臨む態勢を整えると同時に、コミュニケーションに役立つ知識を得る。
- ⑤ 観点別学習状況の評価を踏まえた学習評価の改善を着実に進める。

### 3 基本的生活習慣の確立と社会規範の醸成

- ① 全職員の共通認識のもと、首尾一貫した姿勢で生徒指導を行う。  
・非行の防止 ・整容指導 ・挨拶の励行 ・時間の厳守(生活・提出物締切等)
- ② HRの充実(担任力の育成・向上)と生徒会活動の活性化、部活動への積極的な参加を促し、集団活動をとおして、豊かな人間性・社会性・主体性等を育成する。
- ③ 生徒の情報を全職員が共有し、スクールカウンセラーと連携しながら教育相談機能を高め、心の教育及び生徒への支援の充実を図り、不登校や退学の防止に努める。
- ④ 交通事故・違反の撲滅を図るため、HR指導や各種講習会をとおして生徒の交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守及び人命尊重の精神を育成する。
- ⑤ 5S<整理、整頓、清掃、清潔、躰(習慣)>の徹底をしっかりと、しつこく(+2S)図り、常に学習環境を整える意識付けを行う。
- ⑥ 生徒の健全育成に係る外部講師招聘講座を積極的に展開する。

### 4 進路意識の早期育成と進路実現(キャリア教育の充実)

- ① 生徒の能力、適性を考えながらきめ細かい進路指導を行う。
- ② 進路目標の早期の設定と、進路実現に向けた具体的な取組及び指導を行う。
- ③ 地域・行政・企業と緊密に連携を図りながら、外部有識者や地域の教育力を取り入れ、職業観・勤労観を育成する。
- ④ 資格取得に向けた積極的な指導・支援により、生徒の目的意識と向上心を育成する。
- ⑤ 卒業生の職場への定着状況等を把握し、PDCAサイクルによる進路指導の改善を常に行う。

### 5 明るい職場づくり

- ① 教職員の協働と融和による明るい職場を構築する。
- ② 事務室との連携による円滑・適正な公務及び会計処理を行う。
- ③ 事業のスクラップ&ビルドを進めるなどして多忙化解消を図る。
- ④ 教職員の綱紀保持に努める。